

# R7 魚津市のコミュニティ・スクール①

## 星の杜小学校

4/18(金)に星の杜小学校の第1回学校運営協議会が開催されました。令和6年度の木下会長が、コミュニティ・スクールの今後に期待する旨を開会の挨拶で述べ、令和7年度の会長として高島委員(下中島地域振興会長)、副会長には二川委員(上中島地域振興会長)が選出されました。

協議では、校長の細野委員よりグランドデザインを基に、育てたい子供像や本年度の重点についての説明と、学校の現状と課題について詳細な報告がありました。

育てたい「子供像」だけでなく、

- 一人一人を大切にする教師
- 笑顔で子供と接し、子供の成長に喜びを見いだせる教師
- 地域・保護者から信頼される教師

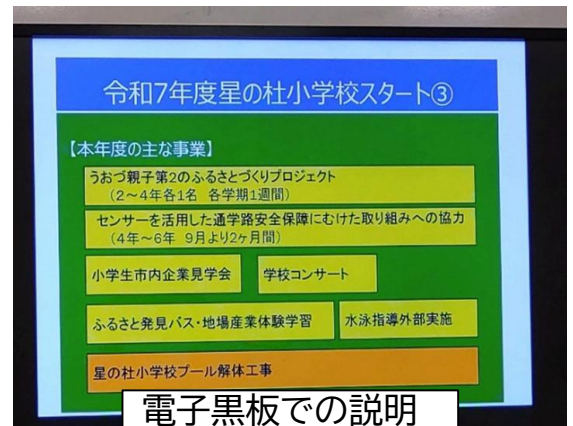
など、学校が目指す「教師像」についても説明がありました。



第1回学校運営協議会

意見交換では、特に「地域と学校との協働した活動」について、建設的な意見や提案が出されました。

学校運営方針の承認ののち、学校運営協議会の年間計画や**地域の方に学校を開放する機会**についての説明があり、「開かれた学校づくり」を前提に協議していくことを確認しました。



電子黒板での説明

### 協議会での主な意見

○学校運営協議会は、学校の方向性をじかに聞く貴重な機会である。

○核家族が多くなっている。核家族は、大人も子供もさまざまな世代と関わる機会が少ない。**学校を拠点とした地域交流が『世代交流』**につながっていくことに期待したい。

○「コミセン行事の相乗り」など、**地区をこえた交流**が大切である。

○行事や活動の周知の仕方を工夫したい。 など

# R7 魚津市のコミュニティ・スクール②

## 西部中学校



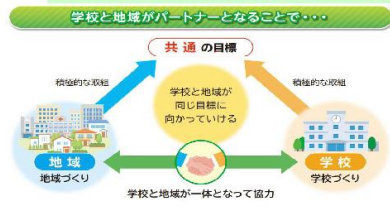
第1回学校運営協議会

5/15(木)に西部中学校の第1回学校運営協議会が開催されました。会長として、6年度に引き続き、福留委員(市社会福祉協議会 会長)、副会長として今年度新たに伊東委員(西部中PTA会長)が選出されました。

校長の鍋島委員からは、学校教育目標の達成に向けて、「安心感・充実感が得られる学校づくり」をベースに、特に「**チーム担任制のアップデート**」に取り組むたいと説明がありました。昨年の学校運営協議会での意見を取り入れ、チーム担任制の特長の周知に努めるとの説明もありました。チーム担任制の仕組みや成果についての質疑の後、全会一致で学校運営方針が承認されました。

### 地域学校協働活動 — 学校と地域がパートナーになって —

～ 地域力を生徒の「地力」に！ 生徒の力を地域の「活力」に！ ～



保護者・地域住民等が学校運営や教育活動へ参加することで、生きがいにつながる、子供たちの学びを体験が充実します。

- 自分の経験を生かして学校や子供のサポートをする、活動が広がる
- 地域の力を生かした学校運営や教育活動が実現する
- 地域の人間関係が濃くなる
- 学校を中心に地域がつながり、地産の活動が活発になる
- 地域人材を活用した学習が効果的で進む
- 地域の雇用機会を生かすことで、学校での学びがより豊かになり育つようになる



地域から学校へ 地域住民 西中サポート活動

地域力を生徒の「地力」に  
地域住民による  
西中サポート活動

生徒から地域へ 西中生 放課後いきいき活動「ふるさと魚津 いきいき活動」

生徒の力を地域の「活力」に  
西中生による  
放課後いきいき活動

左図の説明 抜粋

今年度、「魚津市ならではのキャリア教育、ふるさと教育の推進」に向け、地域の教育資源の積極的活用を図りながら、「**西中サポート活動**」と「**放課後いきいき活動**」に取り組めます。活動の具体については担当チームを編成し、協議していきます。

部活動の地域展開が進む中、生徒の放課後の過ごし方も多様化してきました。そこで、平日の放課後に**西中生が地域に出向き**、ボランティアや興味ある活動に取り組み、地域に貢献する活動を計画しています。例えば、14歳の挑戦でお世話になった事業所で引き続き活動する、農業の手伝いをする、児童センターで小学生の世話をするなど、**地域貢献**・自己実現につながる活動を少しでも実践できるようにしたいと思います。

# R7 魚津市のコミュニティ・スクール③

## 経田小学校

5/19(月)に第1回学校運営協議会が開催されました。会長に野村委員(経田地区振興協議会 会長)、副会長に越後委員(経田小学校育成会副会長)が選出されました。

校長の金谷委員から、グランドデザインとイメージマップを基に、学校教育目標達成に向けて、育てたい児童像や重点目標、コミュニティ・スクールの位置付け等の説明がありました。イメージマップは、4者(児童、保護者、地域、教職員)の取組みを整理して、学校教育目標との関連を示したものです。特に、今年度大切にしたい事柄の一つ「**学びの場の保障**」についていくつかの質問・意見がありました。協議会后には、学びの場の一つである「校内すまいる」の施設見学と利用状況の説明がありました。



校内すまいるの施設見学

協議の中で、ふるさとキャリア教育の取組みとして、「**地域探検ウォークラリー**」について意見交換しました。これは、経田小学校で長年続いていた「縦割り班」によるふるさと学習の取組みで、1年から6年まで異学年の班ごとにコースを決め、ポイントで地域のクイズ等を行うものです。意見交換では、地域の方への周知の仕方と支援の在り方が話題の中心でした。「回覧板がよいのでは」「子供の姿を見かける機会が少ないので、地域の方も喜ぶのでは」「安全なルートは」など、**協働の在り方**について具体的な協議がされていました。

令和7年度学校運営方針

魚津市立経田小学校

### 「笑顔あふれる学校づくり」

【学校教育目標】 笑顔あふれる子供の育成  
 【育てたい児童像】 ・まなぶ子「笑顔で学びいっばい」  
 ・やさしい子「笑顔で思いやりいっばい」  
 ・健康な子「笑顔で元気いっばい」

### 楽しい授業づくり

- ・基礎・基本の定着
- ・自ら課題を見付け、解決しようとする学習(自己調整力の育成)
- ・学ぶ楽しさを味わう、「分かる」授業
- ・主体的・対話
- ・ICT機器の活用
- ・自分の成長

### 楽しい学級づくり

- ・気持ちのよい挨拶や返事
- ・特別活動の工夫
- ・生活の中での生徒指導
- ・他者理解、周りの人への感謝



児童

教職員

交通安全教室  
自転車教室

経絡祭

運動会

自己指導能力の育成

組織の心理的安全性の確保

特別支援

学校保健委員会

メディアコントロール

育成会活動

幼小接続

・障がいの特

・環境調整、合理的配慮

・学びの場の

・読み聞かせ

・ミニン教室

・プロ

・学

・ライ

・見守り活動

・交通当番

・ふるさとキャリア教育

・コミュニティ・スクール

・地域探検ウォークラリー

・潮風子ども見守り隊

・民生・児童委員

### 学校運営方針

グランドデザイン と イメージマップ



6月13日(金) 9:00~12:00  
 1~6年生が縦割り班ごとに地域を探検する

地域探検ウォークラリー

# R7 魚津市のコミュニティ・スクール④

## よつば小学校

5/20(火)に第1回学校運営協議会が開催されました。令和6年度に引き続き、会長に亀澤委員(村木地域振興会会長)、副会長に大野委員(大町コミュニティセンター長)が選出されました。



第1回学校運営協議会

校長の森田委員から、ランドデザインを基に学校運営方針の説明がありました。亀澤会長から「昨年度末の学校運営協議会の意見が反映された運営方針」となっている」との評価がありました。一例として、昨年度末の「縦割り活動を積極的に取り入れてほしい」という意見を取り入れ、今年新たに「異学年交流の場の設定」を重点に位置付けました。すでに、異学年交流活動を実施したとの報告がありました。

「子供たちの笑顔のために」学校・家庭・地域がつながる  
温かいコミュニティ・スクール よつば小学校

【育てたい子供像】  
気持ちのよいあいさつ、返事ができる子  
人の気持ちを考えて行動できる子

共通の目標 ビジョン

学校・家庭・地域が共通の  
目標やビジョンに向かって  
連携・協働する。

家庭・地域の皆さん

よつば小学校 学校運営協議会

見守り隊	民生・児童委員	社会福祉協議会	後援会	PTA	西部中学校区 保育園・小学校・中学校
地域振興会	コミュニティ・センター	親学びクラブ	学習支援ボランティア		

よつば校区 地域住民のネットワーク

コミュニティ・スクールの魅力は何？

子供にとって  
の魅力

- 学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。

教職員にとっ  
ての魅力

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営が可能となり、学校の業務改善につながります。
- 地域と連携した教育活動が充実します。

保護者にとっ  
ての魅力

- 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生じます。
- 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

地域の人々に  
とっての魅力

- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。
- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。

学校運営のベースが「学校・家庭・地域がつながる温かいコミュニティ・スクール」であるとし、森田委員は、地域・家庭・学校で育てたい子供像について意見を求めました。挨拶について全員が賛同の立場で、「それぞれの立場で取り組んでいくことが大切」「年々挨拶の輪が広がっている。なかなか挨拶ができない子のためにも地域の大人が行動を見せることが大切」など、学校・家庭・地域の共通の目標とすることを確認しました。

また、コミュニティ・スクールの魅力を「子供」「教職員」「保護者」「地域の人々」それぞれの立場で整理し、地域住民のネットワークを生かした「温かいコミュニティ・スクール」づくりに向けて、改めて理解と協力を依頼しました。

# R7 魚津市のコミュニティ・スクール⑤

## 道下小学校

5/23(金)に第1回学校運営協議会が開催されました。6年度に引き続き、会長に本元委員(道下地区振興協議会 会長)、副会長に住田委員(道下地区民生児童委員協議会 会長)が選出されました。

校長の長崎委員から、学校要覧や学校だよりを基に、学校運営方針の説明がありました。その中で、「**ふるさとから学ぶ教育**」を重点の一つに掲げ、具体的には道下コミュニティセンターとの連携した取組みを大切にしたいとの話がありました。他の委員からは、「コミュニティセンターのサークル活動が充実しており、親としていろいろなことを体験させたい、ぜひ継続してほしい」「これだけ豊富な種類の活動は珍しい」との意見がありました。

学校だよりも「**地域とともにある学校 ～地域で支えられて育つ子供たち～**」と題して、コミュニティ・スクールの意義や地域と学校との協働活動への協力・支援について記載されていました。

### ◆学校の教育目標

豊かな心を持ち たくましく生きる子供を育てる

- 〈育てたい児童像〉 やさしく(徳) かしく(知) 元気な子(体)
- 〈目指す学校像〉 一人一人の子供がよさを発揮し生き生きと学ぶ学校  
 ・子供にとって安心して楽しく過ごせる学校  
 ・教職員にとって、やりがいと誇りをもつことができる学校  
 ・家庭や地域と連携・協働し、信頼される学校

### ◆本年度の重点

- ・気持ちのよい挨拶や返事をする子供、互いに認め合い、助け合う子供の育成
- ・主体的に学び、関わり合いを通して学びを深める子供の育成
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組み、望ましい生活習慣を身に付ける子供の育成

#### やさしい心の子

- 進め合い人間関係づくり
- 授業や学級活動、縦割り班活動を通して進め合い人間関係づくり
- 道徳教育、いのちの教育、人権教育の充実
- ※思いやりの心育成(望ましい人間関係、信頼ネットワーク)
- 心のもちた挨拶
- ふるさとから学ぶ教育
- ※道下小に学びがけとの連携

#### かしくい子

- 分かる授業づくり
- 基礎的・基本的な学習内容の確実な習得
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ※「対話的な学び」「振り返り」を工夫した授業づくり
- 学ぶ意欲の高揚につながる生徒指導の機能を生かした授業と学習づくり

#### 元気な子

- 心身の健康づくり
- 「みんなでチャレンジ3015」の活用による体力づくり
- 安全意識の向上
- ※危険予測、回避能力の育成
- 家庭と連携した望ましい生活習慣の定着
- ※「早寝、早起き、朝ごはん」による継続的な生活づくり
- ※感染症、熱中症等の予防

#### 家庭・地域で取り組みたいこと

#### 家庭のふれあい(ふれあいたっぷり)

- 家庭、地域の中で挨拶をかわし、気持ちを伝えあうふれあいを大切にします。
- ※はよう、ただいま、おかえり、ありがとう、ごめんなど、よかたは(愛情と大切にともに成長する心のふれあい)
- 家庭で決めた手伝いを継続的にします。
- ※家族の一員として共に支え合う喜びを大切にします。(自己有用感、自立心)

#### 家庭学習の習慣づけ(学習こつこつ)

- 家庭学習の習慣を大切にします。
- 学習意欲を大切にした学習環境を整えます。
- ※やる気や伸ばす言葉かけ
- ※個々の興味や関心に応じた学習(自主学習ノート等の活用)
- ※学校と家庭の学びがけつながり(一人一台端末の活用等)

#### 規則正しい生活リズム(けじめしゅかり)

- 「早寝、早起き、朝ごはん」に取り組み、生活リズムを整えます。
- ※適切な睡眠時間の確保を重視し、ゲームやテレビの視聴時間を家庭ルールを決めて実践する。
- ※自分で決めたことを守ることのよさを実感できるように支援する。
- 感染症、熱中症等の予防を心がける。
- 他者との関わりを通して社会的マナーや思いやり等を学ぶ。

### ◆アクションプラン

#### 進んで挨拶する態度の育成

- 進んで挨拶をしていく
- ・児童の自己肯定感の向上
- ・教員の理解

#### 協働し学ぶ授業づくり

- 児童と協働し合い、よりよい学びを実現する

#### 望ましい生活習慣の育成

- 12月期に80%以上、4～6年 80%以上

学校運営方針 グランドデザイン

### 地域とともにある学校 ～地域で支えられて育つ子供たち～

市内の小・中学校では、令和6年度よりコミュニティ・スクールを導入しています。コミュニティ・スクールを分かりやすく言うと、目指すべき教育や育てたい子供の姿を地域と学校とが共有し、お互いが当事者となって子供たちを育てていく仕組みと言えます。

道下小学校は、これまでも地域との関わりが深く、地域の皆様に支えられている取組が大変多いことに、心より感謝しております。今後も、「地域とともにある学校」を目指し、地域の皆様と協働し子供たちの成長を支えていきたいと考えております。



1～3年生は、ボランティアの「低学年の下校時には、パトロール」コミュニティ・センターの道下サークルも子供たちが楽しみにしている活動の一つです。写真は5/10、毎回楽しみにしています。

学校だより 第1号

**縦割り遠足**や**14歳の挑戦**等でお世話されている委員から、「地域の大人が積極的に子供に声をかけることが大切」との意見がありました。意見交換の中で「**子供の安全**」について話題となりました。

子供の安全について、「一人で子供が歩く姿は少なくなった」「地域の活動の行きかえりについて、どこまで段取りすればよいか迷うことがある」「道下地区のまちづくり委員の中に安全を担当する部会がある。ぜひ、夏の通学路点検の際に委員に声がけしてほしい。連携して取り組みたい」など、具体的な意見、提案が出されました。

# R7 魚津市のコミュニティ・スクール⑥

## 東部中学校

5/29(木)に第1回学校運営協議会が開催されました。7年度は新たに会長に谷口委員(西布施地域振興会 会長)、副会長に野村委員(経田地区振興協議会 会長)が選出されました。

校長の寺崎委員から、イラスト入りの資料を基に、学校運営方針や取組みの重点について説明がありました。学校教育目標の具現化に向けて、目指す学校像として「一人一人が輝く笑顔あふれる学校」を掲げ、生徒だけでなく、「教師が働く喜びを感じる学校」にしたい、また、**コミュニティ・スクールの仕組みを活用**して「地域・保護者から信頼される学校」づくりに努めたいと説明があり、他の委員から賛同の意見がありました。

### 学校運営方針 資料より

- ①地域の教育資源を活用した厚みのある教育活動の充実
- ②地域の人とのふれ合い活動
- ③子供たちの地域貢献活動

令和7年度 東部中学校 第1回学校運営協議会



### 学校の教育目標

心豊かで創造性に富み、主体的に活動する生徒を育てる

### 目指す学校像

一人一人が輝く笑顔あふれる学校



#### ○笑顔と活気にあふれる学校

- ・笑顔…温かい人間関係、友達と仲良し、いじめがない安心安全な学級
- ・活気あふれる…元気なあいさつ、自主的・主体的な活動、活発な意見交換

#### ○学ぶ楽しさ、喜びが実感できる学校

- ・わかる、できるを増やす…一人一人で、協働で
- ・生徒が主体の授業改善…教師は伴走者、一方的な一斉講義型授業からの脱却

#### ○教師が働く喜びを感じる学校

- ・チームで対応…一人で抱え込まない、何でも相談できる、気付けてあげる、孤立させない
- ・ワークライフバランス…仕事も生活も充実、切り替え、とにかくバランスが大事

#### ○地域・保護者から信頼される学校

- ・コミュニティ・スクール…地域、保護者と積極的に向き合う、協力関係
- ・地域の資源の活用…人材活用、体験・見学学習、ふるさとキャリア教育 etc



### ウェルビーイングな学校を目指して

東部中学校の生徒だけでなく、彼らを取り巻く全ての人が幸せや豊かさを感じられる

### ○14歳の挑戦に向けて

1年生を対象としたワークショップ

(**地域の方に講師**を依頼)

○家庭科での実習支援

裁縫実習(手縫い ミシン)

調理実習(支援内容未定)

など

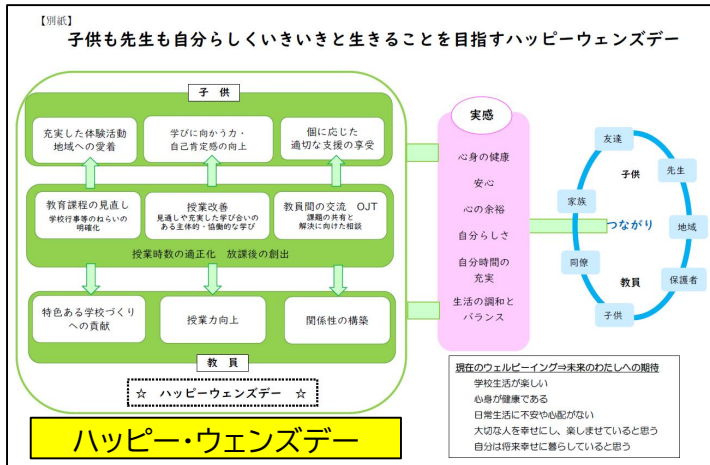
2学期の「**3学年 総合的な学習発表会**」に協議会の委員に参加してほしいと依頼がありました。9年間のふるさと魚津の学習のまとめとして、3年生が考えた「明日の魚津」についての発表に助言、評価をいただきたいとのことでした。未定ですが、発表会の後に学校運営協議会を開催したいと提案がありました。

# R7 魚津市のコミュニティ・スクール⑦

## 清流小学校

6/5(木)に第1回学校運営協議会が開催されました。会長に伊田委員(天神地域振興会 会長)、副会長に谷口委員(西布施地域振興会 会長)が選出されました。

校長の弥生委員から、まず、学校の教育目標について説明がありました。児童、学校の実態に基づき、大切にしたいキーワードを「**あたたかく**」に設定し、目指す子供の姿や取組みの重点もアップデートしたと具体を交えて説明がありました。委員からは不登校や清流すまいるの状況についての質問があり、学校の課題や取組みについて共有しました。意見交換の後、学校運営方針は承認されました。



「ハッピー・ウェンズデー」を学校運営の大切な要素と位置付け、ねらいや内容を構造化して、目指す姿を明確に説明しました。

「家庭・地域との連携・協働」を学校運営のベースに位置付け、**地域の人・もの・ことから学ぶ体験活動**について、具体的な提案がありました。

- 3年生 りんご園での体験
- 4年生 西布施地区のさつまいも栽培 蝶六指導
- 5年生 田植え体験 ミシン学習支援
- 6年生 地域の企業見学 等

また、体験活動のアウトプットとして、お世話になった地域の方を招き、自分たちの学習のまとめを発表したり、交流したりする場を計画しているとの話もありました。質疑・意見交換の後、コミュニティ・スクールに係る活動についても委員から賛同を得ました。

### 令和7年度 清流小学校の教育

学校運営グラウンドデザイン 2025.4

#### 1 学校の教育目標

「かしこく」「あたたかく」「たくましく」生きる子供の育成

#### 2 目指す学校の姿

- 元気な声はすむ学校 明るく夢うつす学校 共に手を取り進む学校
- 子供にとって、安心・安全で楽しく生き生きと学べる学校
- 教職員にとって、やりがいと誇りをもつことができる学校
- 保護者、地域と連携・協働して子供を育てる学校



#### 3 目指す子供の姿

- 丁寧に学ぶ子
- 相手の立場や気持ちを考えて行動する子
- 健康で安全な生活を自分でつくる子

#### 4 重点

- 主体的な学びを育成する授業実践
- 問題発見・解決的な学習の推進
- 見通しのある課題の設定
- 効果的な学び合いの工夫
- 自分の学びを整理する振り返りの充実
- ICT活用の促進
- ふるさとキャリア教育の推進
- 授業のユニバーサルデザイン化
- 目標をもって取り組む家庭学習の推進
- 家庭学習 10分×学年の習慣化
- 自分で考える自主学習の推進
- 気持ちのよい挨拶や感謝の言葉の習慣化
- 挨拶運動の推進
- よいことチャレンジの推進
- 仲間と協働して取り組む活動の充実
- 学級、学年、児童委員会での取組の充実(なりたい自分や自分たち)
- 縦割り班活動の推進
- 多様性の尊重
- 心を豊かにする読書習慣づくり
- 朝読書、図書室利用の充実
- 規範意識の醸成
- 基本的な生活習慣の定着
- 時刻・時間を見通した活動
- メディアとのよりよい関わり方(メディアコントロール)に関する取組
- 病気になる健康な習慣の定着
- 目標を決めて取り組む運動の実施
- 分間走の継続
- 外遊びの推奨
- 安全に生活する態度の育成
- 命の教育の推進
- 交通安全、自然災害、厳しい自然環境や害獣、アレルギー対応等に関する知識の習得
- 「自分の命は自分で守る」意識の高揚

#### 5 育てたい心

- 学び合いと自己調整を  
楽しむ心
- 自他のよさを認める  
温かな心
- 自他の命や健康を  
大切にする心

- 家庭・地域と連携・協働する外に開かれた学校  
～コミュニティ・スクールの推進～
- 地域の人・もの・ことから学ぶ体験活動の推進
  - 教職員の働きやすい環境づくり
  - 見守り隊、挨拶運動、教育支援ボランティア等の活動の充実
  - 保護者と共に考える家庭教育の充実

- 教職員のやりがいを生む内を開かれた学校
- 授業のアップデートにつながる研修の充実
  - 「分かる、できる」を実感できる楽しい授業
  - あったか学級づくりやいじめ、不登校等の防止、特別支援教育者に関する研修・取組の促進
  - 働きやすさや可能性を伸ばす支援、清流すまいるの活用
  - 働き方改革の推進(別紙参照)
  - 教職員の資質向上と子供たちの学びの充実
  - ハッピー・ウェンズデーの実施や業務改善

### 学校運営方針

次回の学校運営協議会は、2学期、学習発表会のリハーサルを参観した後に実施される予定です。

# R7 魚津市のコミュニティ・スクール⑧

## 黒部市と合同で学校マネジメント研修会を実施しました

令和6年度のコミュニティ・スクール導入を契機に、魚津市・黒部市合同で**管理職を対象とした「学校マネジメント研修会」**を開催しており、今回が2回目となります。前CSマイスター 大山賢一先生の指導助言のもと、**コミュニティ・スクールに係る研修会を通して知見を広げ、学校運営の改善に資すること**としています。

○参加者 魚津市・黒部市の小中学校 校長及び教頭 36名

○期日・場所 8月27日(水) ありそドーム 研修室

前半の班別研修では、「地域とともにある学校づくり」をテーマにプレゼン・協議し、学校運営の現状や課題について共有しました。

【主な取り組みや課題(キーワード)】

○学校運営協議会での前年度の意見を踏まえた学校運営方針

○学校運営ビジョンの具現化に向けた学校の役割の明確化

○～地域の力を生徒の「地力」に 生徒の力を地域の「活力」に～

○学校教育目標の見直しに係る地域、保護者との話し合い 「こんな子供を育てたい」「誰が」「どうする」

○コミュニティ・スクールとしての年間行事カレンダーの作成

○地域の人材や団体等の紹介、調整を担うコーディネーター的存在の確立 など



コミュニティ・スクールの導入から2年目を迎え、各自の実践に基づく意見交換、課題共有ができたものと思います。表情豊かに、中には身振り手振りを交えながら、熱心に協議されていた姿が印象的でした。今後の「特色ある学校づくり」へのヒントが得られたのではないのでしょうか。



後半は、「コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体的な取組」と題して大山先生より講義を賜りました。先生からは、「よりよい学校・よりよい地域を創るために目標や課題にせまる活動の評価の在り方を工夫し、改善へつなげてほしい」「具体的で実現可能な学校経営方針を立て、職員、保護者、地域住民が納得できる説明が大切」「信念、ビジョン、愛情、信頼関係を大切にして、『攻めの教育』で常に前向きに挑戦し続けてほしい」などの貴重なメッセージをいただきました。

講師 大山 賢一 先生

上越市在住。元上越市立小学校長。上越市教育委員会勤務時に、地域学校協働本部とコミュニティ・スクールを上越市全校に導入。平成25年から11年間、文部科学省のCSマイスターを務め、全国各地で教育委員会や学校への指導助言、講演を行う。

# R7 魚津市のコミュニティ・スクール⑨

西部中学校では、コミュニティ・スクールの仕組みを活用して、「魚津市ならではのキャリア教育、ふるさと教育の推進」に向け、地域の教育資源の積極的活用を図りながら、地域学校協働活動の充実に取り組んでいます。

## 西部中学校「地域学校協働活動」キャッチフレーズ

せいちゅうけんじ

## CSPA(コスパ) ～地域とともに 西中健児～

全校集会 全校投票 で決定



【ポスター】

生徒会では、地域学校協働活動を活性化させ、身近で分かりやすく、親しみやすくしたいとの思いから、地域と学校をつなぐ合言葉を作ることになりました。選考委員を中心に全校生徒で話し合い、キャッチフレーズを作成しました。

CSPA(コスパ)とは

- C ... Community(コミュニティ) **地域**
- S ... School, Seibu(西部中) **学校**
- P ... Partnership(パートナーシップ) **協働**
- A ... Action, Active(行動) **活動**

西中生による  
放課後いきいき活動

活動の一例

地区の活動  
に参加する  
しくみを全校  
体制で

## 学童保育ボランティア

放課後、西部中学校区にある学童保育施設でのボランティア活動

～小学生の遊び相手(ドッジボールの審判、話相手)、施設の環境整備(草むしりなど)～

11月から 西中生6名が活動

# R7 魚津市のコミュニティ・スクール⑩

東部中学校では、学校運営の重点として「地域・保護者から信頼される学校」を掲げ、地域の教育資源(人・もの・こと)を活用した厚みのある教育活動の充実を目指しています。そこで、そのよさを共有していただくために、学校運営協議会の委員の皆さまにも、地域人材を活用した授業を参観する機会を設定しました。1つは、2年生の技術・家庭科、もう1つは、3年生の総合的な学習の時間です。

## 中学2年生 家庭科の調理実習



「魚津の子に魚をさばく体験をさせたい」というPTA会長の発案で、魚のさばき方・調理の仕方の実習を行いました。この実習には市内にあるハリタ冷蔵さんに、魚の提供から技術指導までを協力いただき、一人1匹のサバを三枚におろして味噌煮にするまでを教えていただきました。また、地域ボランティアの方も支援に加わってくださったり、参観していた保護者も生徒と一緒に体験したりしました。魚に触るのは初めてという生徒もあり、学校だけではなかなか体験できない「厚みのある」貴重な体験となりました。生徒の生き生きとした様子から、委員の皆さまも「地域学校協働活動」のよさを実感したものと思います。

## 中学3年生 総合的な学習の時間「明日の魚津を考える」発表

9年間の「キャリア教育」の学びの集大成として、中学3年では「明日の魚津を考える」というテーマで、自分の考えをパワーポイントにまとめて発表する活動を行っています。この日は、各クラスの代表4名の生徒による発表がありました。魚津のよさと課題を自分事としてとらえ、根拠となる資料を交えながらユニークな視点での提言となりました。



アドバイザーとして、学校運営協議会の委員の皆さんからも、発表に対する評価・助言をいただき、生徒は励みになったものと思います。

参観後に実施された「第2回学校運営協議会」では、校長先生からの中間報告に対して、具体的に意見交換がされ、今後の地域学校協働活動への期待について共有しました。

# R7 魚津市のコミュニティ・スクール⑪

今年度も経田地区振興協議会の高瀬企画・総務部長から提案があり、12/16(火)に「昼なべ談義」が実施されました。

## 【背景】

○経田地区振興協議会では、地区の将来を考える「夜なべ談義」事業を見直し、町内会22地区で実施しています。

○コミュニティ・スクールが導入されたことを契機に、将来を生きる子どもたちが地域のことを考えるきっかけとしてほしいとの願いから、「23番目の町内会」として、小学6年生を対象とした「昼なべ談義」が提案・実施されました。今年で2年目です。



趣旨の説明



グループ協議



グループ発表

- 1 「昼なべ談義」の趣旨、テーマの説明  
テーマ「未来の経田地区について考えよう」
- 2 個人思考 → グループ内での意見交換
  - ① 今の経田地区に足りないものは？
  - ② 自分たちにできることは？
  - ③ 将来の経田地区はどうなってほしい？
- 3 発表に向けた話し合い
- 4 各グループ発表
- 5 感想 評価 まとめ

子どもたちからは

「もっと遊ぶ場所がほしい」「みんなが来たくなる場所にしたい」「『経田といえば〇〇』をつくる」などの願いをもとに、経田の魅力を探して「CMやポスターをつくる」「地区の人に企画を提供する」「ベンチを置く」などの意見が出されました。また、自分たちができることとして、「きれいな海岸にするため、潮風ボランティアを充実する」「経田七夕まつりをにぎやかにするため、出店のボランティアをする」など、前向きな意見も多数あり、有意義な時間となりました。子どもたちの意見は、地区振興協議会に紹介されます。